

名前：

私はインターネットのニュースを支持します。インターネット記事の信用がまだ確立されていらない現在では、新聞や雑誌の必要性は高いでしょう。しかし、新聞や雑誌の記事なら信頼できて、ネット記事は信頼できないのでしょう。

インターネットニュースの最大の特長は即時性にあります。私もよく外出先から携帯電話でスポーツの試合の結果を調べることがあり、とても役立っています。しかし、この長所は同時に欠点にもなりうるというのが、私たちの考えでしょう。確かに報道が早いからこそ誤りも多くなりやすいでしょう。しかし新聞や雑誌にも誤りは数多くあります。記者の主観が入りやすいという意味でのリスクも存在します。

ネット記事が信用できないとされる理由は、^{リマ}記述する膨大な情報量にもある~~ことではない~~。専門家の意見から私たち一般人の意見まで雑多に存在しているのですから。しかし実際の

ところ、検索でトップのほうに出るものしか多くの人は目を通しません。このことは新聞も同様です。やはり朝日や読売など、知名度のあるものが信頼される傾向にあるでしょう。新聞や雑誌にも、社会派と呼ばれるものからスポーツ紙、週刊誌に至るまで、様々にあるように、インターネットの記事だって信頼できるものも、できないものもあるのです。

こうして考えてみると、ネット記事も新聞や雑誌も、同じ批判的な目を持って読まなければならぬことがわかります。むしろインターネットが誕生したからこそ、批判的に記事を読むことの大切さに読者は気付いたのではないでしょうか。

インターネット、新聞、雑誌は同じ価値を持っているというのが、私の意見です。そうであるならば、重宝してしまう紙媒体よりも手軽なインターネットのほうがこれから主流になっていっても不思議ではないでしょう。